



東京ベイ通信

患者さんの腹痛は”虫垂炎”じゃありませんか？



小児外科部長 末吉 亮 医師

小児外科よりご挨拶

いつもお世話になっております。2016年4月より前任草深医師から引き継ぎ、早1年半が経ちました。現在、常勤医私一人と共に非常勤医師三人で日々の診療・手術を行なっており、外来は月曜/午前、火曜/午後、水曜/午後、木曜/午前・午後、金曜/午後、土曜/午前（第2・4週）でおこなっております。お陰様で本年は年間300-350症例のペースで手術を行わせて頂きました。さて今回は、こちらに小児の急性虫垂炎に関する記事を掲載させて頂きましたので、お時間がございます際にご一読いただけましたら光栄でございます。

—小児急性虫垂炎について—

小児の急性虫垂炎は成人と比較しますと症状の訴えが少なく、虫垂の壁が薄いため、穿孔を非常に起こしやすいのが特徴であります。2017年6月に小児救急医学会から本邦で初めて小児の急性虫垂炎に対するガイドラインが制定されました。ガイドラインの中核をなす内容は腹痛を訴える患者に対してのスコアリングを行い、どのような場合に高次医療機関の受診を考慮すべきか？ということであります。

小児の急性虫垂炎では以前より Alvarado score と Pediatric Appendicitis Score（下記）というスコアリングが有名であり、当院救急外来でも汎用させて頂いております。

このスコアリングで4-6点は Active observation（絶飲食・点滴補液を行い、定期的な血液検査のフォローを行う）や画像検査のできる入院診療施設に搬送、7点以上では手術対応可能な施設への搬送が推奨されております。当院では夜間・祝日でも急性虫垂炎などの小児外科的な疾患に対応しておりますので、気兼ねなくご相談ください。

Alvarado score		Pediatric Appendicitis Score	
右下腹部に移動する痛み	1点	右下腹部に移動する痛み	1点
食欲不振	1点	右下腹部痛	2点
悪心・嘔吐	1点	咳・跳躍・打診による叩打痛	2点
37.3度以上の発熱	1点	悪心・嘔吐	1点
右下腹部の圧痛	2点	食欲不振	1点
反跳痛	1点	38.0度以上の発熱	1点
白血球数増加(10000以上)	2点	白血球数増加(10000以上)	1点
左方偏移(好中球>75%)	1点	左方偏移(好中球>75%)	1点

年末年始診療体制のお知らせ

日頃よりご紹介ありがとうございます。

平成29年12月29日（金）～平成30年1月3日（水）までの期間は年末年始の祝日対応（小児・救急科）となります。通常外来は平成30年1月4日（木）からとなりますので何卒宜しくお願い致します。

木	金	土	日	月	火	水	木
12/28	29	30	31	1/1	2	3	4
通常外来	年末年始：祝日対応（小児・救急）						通常外来